

# DiaMond Seminar in 九州

日時

2024年5月29日(水)  
19:00~20:00

会場

オンライン配信 (Zoom Webinar)

座長

窪田 直人 先生

熊本大学大学院生命科学研究部 代謝内科学講座 教授

講演  
1

「食事療法の支援のポイント」

木村 美枝子 先生

京都府糖尿病協会 顧問管理栄養士

19:00~  
19:20

講演  
2

「継続可能な食事療法と薬物療法」

山崎 裕自 先生

関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 部長

19:20~  
20:00

## 【事前登録方法】

5月28日(火)までに下記URLまたは二次元コードから事前登録をお願い致します。  
ご登録いただいたメールアドレスに視聴用URLが送付されます。

<事前登録URL>

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_mWBWHMoxRN2tu\\_KWd2MHrw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_mWBWHMoxRN2tu_KWd2MHrw)

※ご登録頂く個人情報は本会運営の目的のみに使用させていただきます。



主催:住友ファーマ株式会社

 SMP-Approved

## 講演 1

糖尿病のある方にとって、食事療法は治療の基本です。しかし、糖尿病の改善のためとはいえ、血糖値や体重を第一の数字目標におくことは患者に負担を強いる事言うまでもありません。医療従事者は「現実はこちらあるべきだ」という期待するあまり、患者にネガティブな状態へとつくりだしていることがあります。患者と向き合うためには、どのようにして健康な人生を過ごすかが大切であり、その価値に沿った日常生活で実践可能な行動目標をたてて明確化することを勧めたい。患者のそれぞれの生活環境に配慮し患者に寄り添い、共に治療に取り組むことを目標とします。食事療法を患者にどう伝えるか、食事支援について分かりやすく紹介します。

### 木村 美枝子 先生

京都府糖尿病協会 顧問管理栄養士

#### 【ご略歴】

##### 《経歴》

1969年～2016年 病院栄養士として42年間勤務

2016年～2020年 行政機関で特定保健指導管理栄養士

##### 《業務》

公社)日本糖尿病協会 企画啓発委員

日糖協会刊行:食事療法冊子 糖尿病「あいうえお」糖尿病腎障害「かきくけこ」、

「妊娠糖尿病」「食事の工夫」などの考案・執筆、食事療法に関する監修及び講演、栄養食事研究など

## 講演 2

ダイアベティス(糖尿病)の治療は、食事・運動療法、薬物療法の3本の矢からなっております。この3つを出来るだけ負担なく継続できることが重要です。特に、食事・運動療法はその人の生活と密接に関わっているため、その人に合った継続可能な食事・運動療法を決めることが必要です。ダイアベティス診療における食事療法とは特別なものではなく、全ての人にとって役立つ健康食であり、治療というよりはむしろ健康維持として長く続けてもらうべきだと考えます。加えて、早期に目標の血糖マネジメントが得られるよう薬物療法を開始することが重要です。本講演では、継続できる食事療法とそれを補う薬物療法による早期治療の強化についてエビデンスをもとに御紹介したいと思います。

### 山崎 裕自 先生

関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター

#### 【ご略歴】

2004年 京都大学医学部卒業

2008年 京都大学医学博士(分子細胞情報学:医科学専攻)

2008年 大阪大学 医学系研究科 分子生体情報学講座 助教

2012年 同講座 准教授

2013年 カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員

2015年 プリンストン大学 ルイスシグラー研究所 博士研究員

2023年 関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 医長

2024年 同センター 部長

所属学会:日本糖尿病学会、日本内分泌学会、アジア糖尿病学会、日本糖尿病協会、日本病態栄養学会